

# と「福祉」

観光3名 福祉7名  
教育5名 ごみ・環境7名

## 意見交換会

### 観光

#### 全般

観光によって「村全体をどうするか」という視点の欠如

- ・観光立村というが各観光サイトを結ぶような形になっておらず、一体感がない。
- ・スキー客の増加しか見ていない。体験型観光の構築を。
- ・索道業者、観光協会のみとまりが無い。統一すべき。
- ・観光案内してくれるところが無い。
- ・外からの目線が欠けており、改善しようという意欲に欠ける。

#### 公共交通の必要性

- ・観光客も住民も車がないと不便で、特に観光にはかなりのダメージだ。
- ・投機目的による外国人の建物・土地の購入ルールの導入
- ・現地スタッフがいらないので不安だ。
- ・白馬が好きで住んでいる外国人もいるが、まった



く住む気がない人もいる。

#### インバウンド

- ・傾向としてはいいが、外国人頼みに対する不安がある。国内のプロモーションも積極的にして欲しい。
- ・インバウンドなしで日本の観光は成り立たない。
- ・国内旅行は北海道や沖縄などが人気で、白馬はその選択肢に入っていない。
- ・人口減少により観光人口が減るので早期の対策を。

#### 民泊

- ・粗大ゴミの不法投棄など、ゴミの問題や不法改造による景観が心配。
- ・消防署と保健所への登録や査察は県条例に入れて欲しい。
- ・登録制にして行政で把握して欲しい。

### 福祉

#### 公共交通

- ・この村はゴミを捨てるにも車が必要。小型のバスで細い道の運行を可能にし、通学や通園、観光にも役に立つ、福祉や観光など分けられない視点の公共交通を。
- ・バスの中に子どもや老人がいれば、自然に会話が生まれたりする。観光客は村の雰囲気がかかる。柔軟性のあるコミュニティバスが必要。
- ・デマンドバスは登録制。自分は電話ができず、利用できない。昔から1時間に1本でもあればと思っていた。
- ・学童も親がいないと移動できない。南小児童は図書館にも行けない。

#### 介護保険・医療の情報・相談・案内の充実

- ・介護は突然やってくる。説明会に行ったら理解が難しかった。
- ・高齢になると冊子を探すのも大変。窓口で最初の説明がほしい。
- ・今すぐ欲しい情報は大きな文字で。ページやボリュームを抑え、インデックスを付けるなどの工夫を。
- ・初期相談は薬局など身近で出来るように、民間相談員ネットワークなど、役場が協力関係を築いてはどうか。

#### 村のホームページ

- ・HPに初期医療の相談コーナーなどを設けては。
- ・もっと充実して欲しい。
- ・知りたい、出してほしい情報があるとき、どこに言えばいいか。

#### その他

- ・来年から国民健康保険が広域化されるが、情報が村のHPにない。高齢者には負担が大変。議員も問題意識を。
- ・国保・介護保険料が年々上昇し心配。
- ・区未加入者は区のごみ集積場を利用できない。未加入者も納税しているのに、福祉、情報のサービスが受けられないのは問題。
- ・役場も一般住民との意見交換会の場を設け、住民の要望に沿った仕事をして欲しい。



## 老人福祉施設はどうなった?

### シニアクラブとの懇談

11月16日に行われたシニアクラブとの懇談会に10名の参加を頂き、行政区の未加入に関連した区の維持・ごみなどの問題や給食センターなど、現在村が抱える問題を多岐にわたり懇談しました。なかでも一番関心が集中したのは、老人福祉施設の建設問題でした。

今回、広域での建設を断念した老人福祉施設は、社会福祉施設運営の特別養護老人ホームで、こういった施設は広域内で現在60床計画しています。今後、北安全体で合計110床になる予定で、介護人材の不足等もあつての判断でした。

当村が広域に要望しているのは、基本は自宅介護が必要に応じてショートステイなどができる「小規模多機能型」と呼ばれる29